

★ 地域とつながる群馬大学

研究者に質問を



投げかける日

日本一敷居の低い研究紹介



裏面に会場マップと
研究者の研究テーマ
があります。

1 研究者とお茶飲み話 会場:アトリウムラウンジ

12:30~16:00

群馬大学の研究者とお茶を飲みながらおしゃべりができます。
学内から選出した約30名の研究者がみなさまをお待ちしております。

2 研究者による講演会 会場:ミューズホール

大学内から選ばれた研究者が分かりやすく、研究にまつわるお話をします。

12:30~12:50

「食物アレルギー診療の現状と新規検査法の開発」

滝沢琢己(医学系研究科小児科学講座准教授)

12:50~13:10

「運動で認知症予防」

山上徹也(保健学研究科リハビリテーション学准教授)

13:10~13:30

「手話とはどんな言語か 通訳者養成をめぐる課題」

金澤貴之(教育学部障害児教育講座教授)

13:30~13:50

「プラスチックごみをどう減らす? 生分解プラスチックの可能性」

粕谷健一(理工学府分子科学部門教授、食健康科学教育研究センター長)

3 シンポジウム 会場:ミューズホール

「データとICTを活用したまちづくり」

地方創生に関して数々の受賞歴を持つ岡祐輔氏を招いて行います。
地方創生の若きカリスマの熱意を感じてみませんか?

14:00~15:00

【基調講演】講師:岡 祐輔氏(福岡県糸島市企画部)

どんな地域も特産品は生み出せる! ~女子高生とのマーケティング物語~
地方創生☆政策アイデアコンテスト2016 地方創生担当大臣賞受賞
地方公務員が本当にすごい!と思う地方公務員アワード2018受賞

15:00~16:00

【パネルディスカッション】

パネリスト

岡 祐輔氏(福岡県糸島市企画部)

大野誠司氏(前橋市情報政策担当部長)

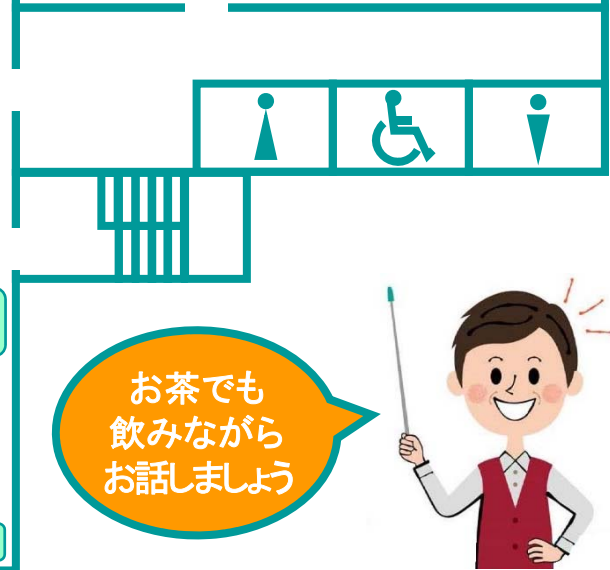
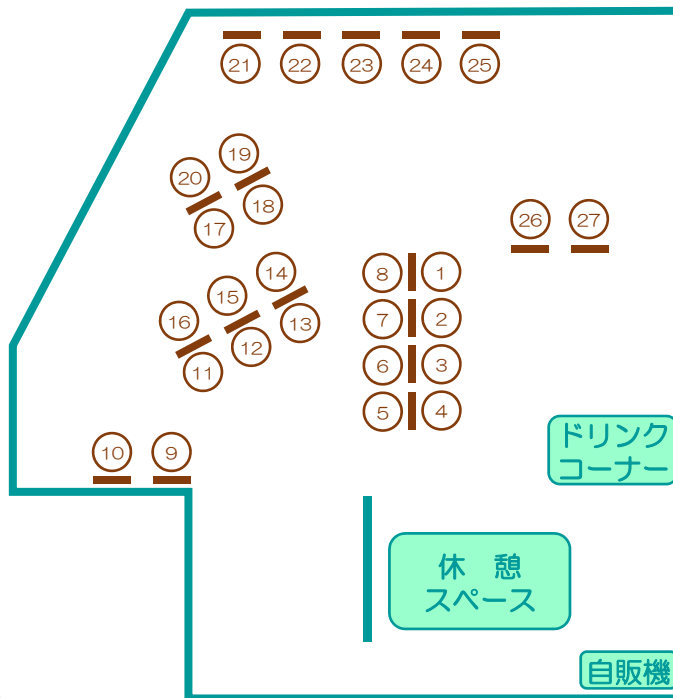
吉良知文(群馬大学社会情報学部准教授)

会場マップ

1 研究者とお茶飲み話
会場：アトリウムラウンジ

会場：ミューズホール

- 2 研究者による講演会
- 3 シンポジウム



ポスター展示内容

ポスターの発表場所は会場マップの丸数字で確認してください

番号	氏名	所属	発表テーマ
1	懸川 武史	教育学部	ワクワク子育てトークン グ ~ぐんま親の学びプログラム~
2	霜田 浩信	教育学部	インクルーシブ教育をめざした交流及び共同学習の検討
3	西村 淑子	社会情報学部	草津・栗生楽泉園 ハンセン病 共生と隔離の歴史を学ぶ
4	大野 富彦	社会情報学部	観光地経営の価値創造デザイン
5	川畑 泰子	社会情報学部	位置情報データを用いた前橋市内の人の行動分析
6	横尾 英明	医学系研究科	世界をリードする脳腫瘍の研究・診療・教育活動
7	佐野 利恵	医学系研究科	ABO式血液型ができるまで
8	柴田 淳史	医学系研究科	からだの設計図であるDNAを守る仕組みを解き明かす
9	渡邊 将	医学系研究科	脊髄小脳失調症3型の治療法開発
10	高橋 さつき	保健学研究科	慢性腎臓病患者用eラーニングの開発
11	野口 直人	保健学研究科	電子版上肢機能評価を用いた頸椎症患者上肢機能の変化と関連性
12	笠松 哲光	保健学研究科	血液疾患における免疫チェックポイント分子遺伝子多型の解析
13	関本 隆志	生体調節研究所	新しいがん治療標的：損傷乗り越えDNAポリメラーゼ
14	藤谷 与士夫	生体調節研究所	糖尿病と肥満の根治にむけたわれわれの試み
15	柴 慎太郎	重粒子線医学推進機構	80歳以上の高齢者肝細胞癌に対する重粒子線治療の成績
16	酒井 真理	重粒子線医学推進機構	重粒子線治療装置と医学物理について
17	若松 馨	理工学府	タンパク質の寿命を伸ばす
18	岩本 伸司	理工学府	環境保全と資源有効利用のための無機材料合成
19	永井 大介	理工学府	効率的で簡便なレアメタル回収を目指した高分子材料の開発
20	荒木 幹也	理工学府	鼻息とジェット騒音のはなし
21	矢野 絢子	理工学府	電気で水を動かす研究
22	若井 明彦	理工学府	弘仁（コウニン）地震～平安時代の群馬大地震を知る
23	桂 進司	理工学府	微小操作技術を基礎にしたマイクロプロセス開発
24	河西 憲一	理工学府	ORの事例研究：医療機関における外来待ち時間の分析
25	鈴木 宏輔	理工学府	動作中のリチウム二次電池の内部を壊さず透視
26	千葉 明人	理工学府	高周波信号をアシストする光2トーン信号
27	藤原 亜希子	食健康科学教育研究センター	昆虫と細菌の切っても切れない関係